

事の集大成となる。

62回目となる今回の式年遷宮は2005年

5月、安全を祈願する山口祭から始まつた。

の最高は2010年の約883万人だった。

行われる。

当曰は、遷御に先立ち、神様を迎える新正

式年遷宮は、地域住民や全国の奉獻者らが内宮、外宮の新正殿が立つ敷地内

に白石を敷き詰める御

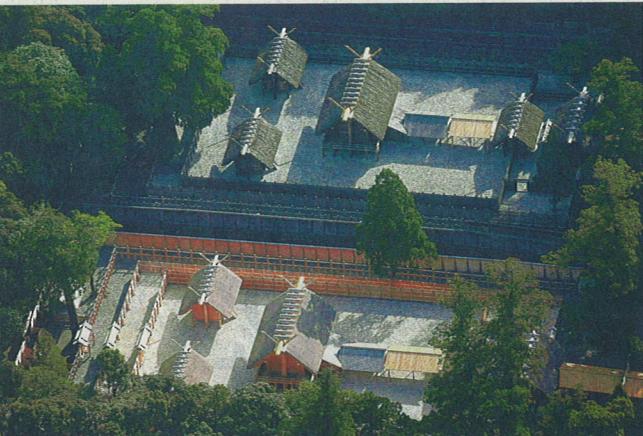
白石持行事が行われた。両宮とも9月に新

正殿が完成。社殿を洗い清め、新正殿の床下に神秘の柱を建て、竣工を祝う儀式も行

われた。

式年遷宮 いよいよ 集大成

伊勢神宮、2日から遷御



式年遷宮で建て替えられた伊勢神宮内宮の新社殿（下）と現社殿＝25日、三重県伊勢市（代表撮影）

伊勢神宮（三重県伊勢市）の社殿を20年ごとに造り替える式年遷宮が、10月2日に内宮、5日に外宮で、ご神体を新しい正殿へと移す遷御が行われ、8年前から続くさまざまな祭事や行

富がクライマックスに近づいている。10月2日に内宮、5日に外宮で、ご神体を新しい正殿へと移す遷御が行われ、8年前から続くさまざまな祭事や行

両宮とも、遷御前日には、新殿が無事に建てられたことに感謝する後鎮祭を皮切りに、新殿に納めるために新調された調度品「神宝」を神職が照合する御装束神宝読合や、遷御に参加する神職や神宝、装束をおはらいして清める川原大祓が

参拝客900万人突破

過去最高

伊勢神宮への今年の参拝客数が9月、900万人を突破し、1896年に統計を取り始めて以来、過去最高を記録した。神宮司厅によると、伊勢神宮へ900万人を突破したのは9月20日。23日現在で内宮が約593万人、外宮が約331万人、計約924万人となっている。これまで

は、地域住民や全国の奉獻者らが内宮、外宮の新正殿が立つ敷地内に白石を敷き詰める御白石持行事が行われた。両宮とも9月に新正殿が完成。社殿を洗い清め、新正殿の床下に神秘の柱を建て、竣工を祝う儀式も行

われた。

両宮とも、遷御翌日には、それぞれ「引越し」を終えれた天照大神（内宮）、豊受大神（外宮）に新殿で初めて食事を供える大御饌や、旧殿内の宝物を新殿に移す古物渡など祭事が続き、御神楽の演奏で一連の儀式が終了する。

遷御翌日は、それぞ

べ、「引越し」を終えた天照大神（内宮）、神職が参列し、新正殿にご神体を納める。大宮司と小宮司が扉を開めて奉拝を行い、儀式が完了する。

遷御が始まるのは暗くなつてから。たいまつの火だけがともる闇の中、絹で覆われたご神体が現正殿から出発する。儀式には大勢の神職が参列し、新正殿にて奉拝を行い、儀式が完了する。

遷御が始まるのは暗くなつてから。たいまつの火だけがともる闇の中、絹で覆われたご神体が現正殿から出発する。儀式には大勢の神職が参列し、新正殿にて奉拝を行い、儀式が完了する。